FXI部品に一括で変換する方法

~ SX 部品、JX 部品、FX 部品から FX II 部品へ ~

1. メニューより[設定]-[コマンド定義]より、[一括変換ユーティリティ]コマンドをアイコンとして貼り付け ます。

Q 🛃		*	一括変換ユーティリティ	1			
このよ	うな画面	「が起動して	きます。				
			変換対象ファイ	ルのボタ			
411-21-11	6		ンを押します)		
一括委员	そうっていの話))					
SX(¥))	J FX(E)	その他@				終了处
変換元プ	'nルダ(≦): [C:¥JSYM¥JSYM				参照(<u>R</u>)	ファイル検索(L)
変換先フ	゚゚ ゖ ルダ(<u>N</u>):	C:¥JSYM¥JSYM ※ 変換先フォルダ	を指定しない場合は、変換元ファイルと同じ:	場所に保存します		参照(<u>C</u>)	
変換後(のファイル名			オプション ―			
⊙デコ	フォルト拡張子	を使用する(D) [例)Sample.dat → Sample.csd]	✓変換元フォ ✓変換元の	ォルダのサブフォルタ フォルダ構造を再現!	ダ内のファイルも変換対象。 して保存する(M)	とする①
〇旧つ 連新	7ァイル孤張子 清文字(日)	を新ファイル名に取	Ji ∆र] (A) 例) Sample.dat → Sample.dat.csd]	 ■ 変換先フ: 	アイル名の重複チェッ	ックを行う(H)	
					ォルダに同名ファイル	がある場合、上書き保存*	73 <u>0</u>)
			変換開始(<u>E</u>)			中止(<u>C</u>)	
種*	復 変換元フォ	アイル名	変換元フォルダバス	変換先ファ	111名	「換先フォルダバス	
						オプション	は任意で設定
						して下さい	
]
-							

2. 変換元フォルダを参照ボタンから選択します。変換先フォルダも参照ボタンから選択します。 同じフォルダでも、FXII部品の形式が CSP なので、上書きされることはありません。

	変換元フォルダ(M):	C:¥JSYM¥JSYM 参照 @照(®	
	変換先フォルダ(<u>N</u>):	C:¥JSYM¥JSYM 参照(Q),	
		※ 変換先フォルダを指定しない場合は、変換元ファイルと同じ場所に保存します	
3	3. 変換元、変換	先フォルダ指定しましたら、ファイル検索ボタンをクリックします。	
4	. 変換元ファイ	ルが検査され、下の枠に一覧表示されます。	

変換後のファイル名は「デフォルトの拡張子を使用する」を選択します。
 一覧表示されたファイルを確認しましたら、変換開始ボタンをクリックします。



6. 一括変換が開始されます、成功はO、エラーは×が付きますので、一覧で確認してください。

一括変換					
変換対象ファイルの種類				終了◎	
変換元フォルダ(M): C¥JSYM¥JSYM	12		参照(2)	ファイル検索(L)	
変換先フォルダ(N): C¥JSYM¥JSYM	12		参照(<u>C</u>)		
※ 変換先フォル	>ダを指定しない場合は、変換元ファイルと同じ場	所に保存します			
変換後のファイル名					
 ・デフォルト拡張子を使用する(D) 	[100) Sample.csd]	図変換元フォルタのサフロ 図変換元のフォルダ構造す	オルタハのファイルも変換対象と #再現して保存する(W)	a 2/D	
○旧ファイル拡張子を新ファイル名 油は立字(小)	TRUXCUA)	■変換先ファイル名の重視	夏チェックを行う(H)		
	t www.cample.cat → cample_cat.csd J	②変換先フォルダに同名:	ファイルがある場合、上書き保存す	5@	
			1.1.(0)		
	変換開始(E)		中止(<u>C</u>)		
種類 変換元ファイル名	変換元フォルダバス	変換先ファイル名	変換先フォルダバス		
O JX 16-10.SYM O JX 16-16.SYM	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2	16-10.CSP 16-16.CSP	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2		
O JX 16-17.SYM O JX 16-18.SYM	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2	16-17.CSP 16-18.CSP	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2		
O JX 16-19.SYM O JX 16-20.SYM	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2	16-19.CSP 16-20.CSP	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2		
O JX 16-6.SYM	C#JSYM#JSYM2	16-6.CSP 16-7.CSP	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2		
O JX 16-8.SYM	C:¥JSYM¥JSYM2	16-8.CSP	C¥JSYM¥JSYM2		
O JX 16-9.SYM O JX 16.SYM	C:#JSYM#JSYM2 C:#JSYM#JSYM2	16-9.0SP 16.0SP	C:#JSYM#JSYM2 C:#JSYM#JSYM2		
O JX 17.SYM O JX 18SYM	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2	17.CSP 18.CSP	C/¥JSYM¥JSYM2 C/¥JSYM¥JSYM2		
O JX 19-1.SYM	C:¥JSYM¥JSYM2	19-1.CSP	C:¥JSYM¥JSYM2		
O JX 19-11.SYM O JX 19-12.SYM	C¥JSYM¥JSYM2 C¥JSYM¥JSYM2	19-11.CSP 19-12.CSP	C:¥JSYM¥JSYM2 C:¥JSYM¥JSYM2		
O JX 19-13.SYM	C:¥JSYM¥JSYM2	19-13.CSP	C:¥JSYM¥JSYM2		
Q JX 19-16.SYM	C:¥JSYM¥JSYM2	19-16.CSP	C:¥JSYM¥JSYM2		
O JX 19-17.SYM	C#JSYM#JSYM2	19-17.CSP 19-18.CSP	C/¥JSYM¥JSYM2 C/¥JSYM¥JSYM2		
O JX 19-19.SYM	C#JSYM#JSYM2	19-19.CSP	C#JSYM#JSYM2		
O JX 19-2.SYM	C#JSYM¥JSYM2 C#JSYM¥JSYM2	19-2.CSP 19-3.CSP	C#JSYM#JSYM2 C#JSYM#JSYM2		
JX 19-4.SYM	C.¥JSYM¥JSYM2	19-4.CSP	C.¥JSYM¥JSYM2		
10 11 C 01	The regime regime?		THE REVIAL REVIEW		
					・ィンなり

7. 終了ボタンで閉じてください。